

令和5年度 第2回 学校運営協議会の報告

令和5年11月28日(火)15時より、令和5年度第2回学校運営協議会を開催しました。

出席者

神田敏生(副会長), 中川智皓(委員), 山本博資(委員), 富士原純一(委員), 中橋光(委員)

※木原委員は都合により欠席

宮城(校長), 岩元(教頭), 天間(事務長), 片寄(首席), 杉田(首席)

議事 校長より今年度のこれまでの教育活動および令和5年度学校経営計画の進捗状況について説明、報告をしました。

委員の方に見ていただいた資料は以下のとおりです

- ①令和5年度学校経営計画及び学校評価について
 - ②第1回授業アンケート結果
 - ③学校教育自己診断について
 - ④令和6年度使用教科書について
- その他、スクール・ポリシーについて

<議題・協議事項>

○学校経営計画進捗状況に対していただいた意見

- ・遅刻者数の報告はあるが、若者の朝起きられない現象が明らかにされ、始業時間を遅くする議論も一部でなされていると聞く。遅刻の原因をとらえての対応も必要である。
- ・働き方改革の推進において一斉定時退勤日の設定もあるが、一斉が無理であれば、個々に必ず週1回定時退勤日を設けるなどで対応してはどうか。アメリカでは遠足に行かないクラスがあるなど、教員の労働を優先して行事を計画することもある。
- ・地域連携では、音楽科生徒が様々な場面で演奏等を行っているので、学校および周辺地域での交流はもとより、視野を広げて考える必要がある。

○学校教育自己診断に対していただいた意見

- ・授業に関する項目において、生徒・保護者の数値と教員の数値に差があると感じる。自宅での学習時間からみて授業中ではわかっているにもかかわらずその後の学習が足りず定着されていないことが原因と考えられる。
- ・一人一台端末の活用については、3年生になると下がる。受験にシフトした授業ではあまり使われていない。端末を使った自習など工夫してもよいのではないか。今後、デジタル教科書にあれば自ずと活用せざるを得なくなる。

○教育活動全般について

- ・総合的な探究の時間(夕陽学)が、生徒にどのような力をつけるのか明確にする。
- ・保護者としては、学校での活動を知りたい。授業参観などを設けて欲しい。
- ・地域では、いわゆる以前の成人の日(二十歳の集い)でもジェンダーフリーの概念から男女という区別をなくした取組みになっている。もっと学校からそういった発信をお願いしたい。

<議決事項> 令和6年度使用教科書

<まとめ>

今年度の取組みについて、委員からいただいた上記意見をもとに、今後より意識を高く持って、教育活動を展開してまいります。

最後に、次回第3回学校運営協議会は2月14日に開催いたします。